

ガートナー違反評価ガイド

ガートナーのアプローチを決定する要素

違反のタイプ

* ドラフト (草案) のマジック・クアドラントの図表またはテキストを社外もしくは社内の適切なユーザー以外のユーザーと共有すること

* 収支報告に未承認のガートナー・データまたはリファレンスを含むこと

gartner.com から PDF リプリントを不正にダウンロード

ガートナー・コンサルティングの提供物を社外に配布

ガートナーのコンテンツを使用しての競合他社の批判

電子メール署名スタンプにガートナーと表記

不適切なリサーチ・コンテンツを使用したセルフ・プロモーション

不当表示 / 説明不足

引用不可のリサーチ・コンテンツ

有効期間を過ぎたコンテンツ

利用許諾の対象であるが必要な許諾を得るための申請がない

使用状況および履歴

メディア・アウトレットの広告 (大規模配布)

ビルボードその他の公共の看板

不特定多数の対象者に向けたガートナー・コンテンツの共有 (ブースの看板、業界イベント、etc.)

ポリシーを遵守していない未承認のプレスリリース

有効期限が切れたリプリント / プロモーション表現

ガートナーのコンテンツを記載した電子メール

Web サイトにガートナーのコンテンツまたは gartner.com へのリンク

過去 12 カ月における事案 (インシデント) の数と頻度

過去における問題の解消実績 (スピード、対応措置、etc.)

* この違反の場合、自動的かつ即座に 3 カ月間の引用禁止およびリプリントの購入権差し止め措置が適用されます。

上記はすべてを網羅した完全なリストではありません。

自社の用例について上記に該当する項目がない場合でも、違反と判断される場合があります。